平成21年度第2回関西支部セミナーに参加して
『投稿に使える口腔内写真の撮り方』

講師：大田　善秋
日時：平成21年2月8日(日)
場所：タカラベルモント(大阪)

矢田　孔太郎（滋賀県）

平成21年2月8日（日）に大阪心斎橋のタカラベルモント4Ｆにおいて第2回関西支部セミナーが行われました。

今回のテーマは『**投稿に使える口腔内写真の撮り方**』ということで、ドクターだけでなく歯科衛生士、歯科助手などの多くのデンタルスタッフの参加がありました。午前中は講義、午後は実際にデジカメを使用しての相互実習を行いました。

投稿用としてだけでなく、口腔内写真は処置後の経過を観察するうえで非常に重要な資料であり、既定の取り方を守ることにより初診および処置前の状態と比較する事ができるようになります。これにより正確な診査、診断が下すことができ、またLongevityという観点でも非常に有効であるように思われます。

今回、実習で行ったのは12枚法です。口角鉤、口腔内ミラーを駆使し患者様に協力していただき手慣れたスタッフならば2、3分で取りきるとのことに驚きました。撮影の際のポイントはいくつかあるので箇条書きにまとめました。

●**正面観撮影**
口角鉤を押さえつけないように全体に前に出す
小帯が引っ張られている状態

●**上顎歯列咬合面観**
口角鉤をやや上方に引っ張り、アゴは少し引く、ミラーと咬合面が約45度になるようにする

●**下顎歯列咬合面観**
口角鉤で下口唇をやや斜め下方にひき、アゴを少し上方にピントは5番もしくは6番の咬合面にあわせミラーと咬合面が約45度になるようにする

●**左右側方面観**
ミラーと歯が可能な限り離れるように頬を引っ張る咬合平面が画角の中央になるようにする

まだまだ書き足りないですが、今回の研修での成果を実際の臨床に活かせるようにしていきたいと思います。

最後になりましたが、このようにDr.だけでなく多くのスタッフも参加することができる貴重な研修会を準備していただいた研修会委員の先生方に感謝いたします。ありがとうございました。